

ひびばい 市議会だより

平成30年2月1日

42号

発行 美 唄 市 議 会
編集 市議会広報委員会

議会報告会（有為東親和会館）

平成29年第4回定例会は、12月5日に開会し12月15日に閉会しました。本会議では、5日の初日に例月出納検査結果報告、美唄市教育委員会の活動状況に関する点検・評価報告がなされました。

また専決処分（平成29年度美唄市一般会計補正予算第4号）の承認案件と、補正予算案件1件などを含む34件が上程されました。

12月8日と12月11日の2日間で一般質問が行われ、9人の議員が市長、教育長、選管委員長に質問を行いました。

12日の常任委員会では、総務・文教委員会（7件、産業・厚生委員会）で27件についてそれぞれ審議しました。

13日の予算審査特別委員会では7件の補正予算に関して、総務管理費で435万5000円、社会福祉費で100万

第4回定例会（12月5日～12月15日）終わる

☆ 平成29年度補正予算

1億2122万2千円可決

円、児童福祉費で1192万2000円、生活保護費で3659万6000円、住宅費で2503万5000円、教育総務費で1131万4000円、保健体育費で3100万円を可決審議しました。

14日の美唄市地域医療体制等調査特別委員会では、市立美唄病院・保健福祉総合施設基本設計概要について審議しました。

最終日となる12月15日は、各委員会から、委員長報告が行われ、人事案件と意見書5件を含むすべての議案について採択・可決し平成29年第4回定例会は、閉会しました。

◆◆ 主な内容 ◆◆

- ◆ 一般質問
- ◆ 各委員会の報告
- ◆ 定例会審査議案
- ◆ お知らせ
- ◆ 市議会の動き
- ◆ 編集後記

一 般 質 問

今定例会では、
9人の議員が一般
質問を行いました。
質問・答弁は本
人が要約したもの
を掲載しています。

公正クラブ

松山 教宗 議員



問 本市小中学校適正配置計画について今後どうなるのか。

答 茶志内小と峰延小を平成32年4月1日に中央小と統合。峰延中を平成31年4月1日に美唄中と統合するなど統廃合時期の具体案を保護者説明会の求めに応じ、たたき台として示し、各校PTAで協議されている。

問 茶小の保護者からは統廃合時期の前倒しの意見があるが。

答 平成30年4月の統合は物理的に難しいが31年度の前倒しについては保護者の意見がまとまった場合には合意形成に向けた協議を進めたい。

問 南美唄小中学校の統廃合について。

答 来年度に入ってから具体的なスケジュール案、統廃合の課題や解決策を示して、保護者と協議をしていく。

問 総合体育館のトイレは和式なので利用者には不便。洋式化や多目的トイレの設置やシャワー室の改修等をしては。

答 調査の結果、トイレやシャワー室の床下には床暖房用の配管など複数の配管があり、改修・接続工事には相当の経費がかかることが判明。しかしながら洋式トイレの個数が少ないことやシャワー室の快

適な環境づくりのための改修について今後工事担当課と工法について研究・協議し必要な整備について予算確保に努める。

問 サンスポーツランド美唄のテニスコート屋外トイレの洋式水洗化整備を進めるべき。

答 平成29年度は大きな大会の際に簡易トイレを設置し対応した。汲取り式和式トイレは不満が多く利用者に対しトイレ環境を含め快適なスポーツ環境を提供する事はスポーツ人口や交流人口の増加に繋がる事が期待されるため簡易洋式水洗化について予算の確保に努める。

《その他の質問事項》

○公共合同墓のアンケート結果と現状について

○中期財政運営基本方針を踏まえた予算編成について

○平成30年度の予算編成方針、重点施策について

○平成31年度以降の財政運営について

日本共産党議員団

吉岡 建二郎 議員



問 消防行政について、11月21日の火災発生時の消火栓の使用状況について。

答 消火栓の開閉弁を全開にしなかったため、消防車両への送水が一時的に不足したが、直ちに全開させたため、送水は通常通り支障なく行われた。

問 消火栓、防火水槽の設置数について何う。また、維持、管理、除雪、更新の状況について何う。

答 12月1日現在、消火栓が442基、防火水槽が72基設置されている。

維持、管理については、消

火栓は、外観点検・機能点検・残水点検等を、防火水槽は、外観点検・水量調査・凍結調査等を実施している。

除雪は、職員が27%、団員が13%、業者委託が60%の割合で、市内全ての消火栓、防火水槽を実施している。

更新状況は平成27年度に4基、平成28年度に5基、今年度は4基の消火栓を更新している。

問 国民健康保険税について、来年度からの広域化で、どのように変わると現状で算定されているのか。

答 11月現在の算定で、モデル世帯を用いて示すと、今年度の国民健康保険税から広域化後で、40歳以上65歳未満の2人世帯で所得200万円の場、14・6%の減少、70歳代の2人世帯で所得50万円の場合、12・6%の減少となる。

《その他の質問事項》

○消火栓、防火水槽の更新時の設置位置について

○国民健康保険会計への一般会計からの法定外の繰入について

みずほ議員会

楠 徹也 議員



問 農業行政について、生産調整の廃止と米直接支払いの廃止について、どのような対策がなされる予定なのか伺う。

答 生産目標の配分の廃止については、北海道においては「オール北海道」の取り組みとして「生産数量目標」に代わる「生産の目標」を設置し、北海道農業再生協議会から各地域農業再生協議会へ配分し、需要に応じた生産を行っていくこととしている。全国的にはこうした取り組みの情報交換と連携を図る全国組織が発生する予定である。なお、「生産の目安」の配分は市町

村を経由せず、各地域農業再生協議会へ直接配分となる。

問 教育行政について指定管理、市民会館について選定委員からの報告書をどの様に受け止めているのか伺う。

答 この報告書では、計5回の選定委員会の中で指定管理者並びにこれまで音響照明業務を受注していた地元業者に対してヒアリング等を実施した結果、この報告書の内容は大変重い内容であると受け止めている。この話し合いに教育委員会が指導的立場でしっかり助言していればこのような報告書の内容にならなかったものと考え、教育行政を掌る責任者としても責任を感じている。現在教育委員会として、双方の信頼関係の再構築に向けて、市民会館利用者のサービス向上に連携して取り組むよう定期的な情報交換の場を通じ、意見交換を行っている。

《その他の質問事項》

○TPP関連対策の見直しについて

○農業改革関連8法案について

無会派

森川 明 議員



問 全国学力テストについて、全国198万、全道7万3千人が参加したテストの結果が公表された。市の実態と中学校部活動の状況、携帯やスマートフォンとの時間等、全国、全道、空知との比率を伺う。

答 小学校国語、算数は全道よりやや低く、空知とは同様、中学校国語は全道、空知と同様か、やや高く、数学は全道、空知と同様で、部活動の調査は加入約80%で、二時間以上が全国、全道より高くなっている。携帯等は一時間以上が全国、全道より高く、家庭の学習に向かう時間が少なく、結果を詳細に分析し授業の改

善を図りたい。

問 国語の記述問題の無回答、都市と地方の格差はあるのか、又、全員参加を抽出方式に切り替え、財源を教育現場予算を厚くすべきである。

答 国語の無回答が全国、全道より多く課題だ。部活動は教職員の退勤が遅くならないよう指導し、携帯やスマートフォンは保護者を含め家庭でのルール作りを推進したい。

札幌市と本市の格差は、教育環境の違いが要因とも思われる。学力向上と調査は継続し、現行の方法で参加してまいりたい。

問 児童虐待が全国で三万、全道で約二千、空知で一九九件あり社会問題化している。市の実態を伺う。

答 市は25件あった。未然防止の環境作りと、各関係機関と連携し防止に取り組みたい。

《その他の質問事項》

○農業IT活用、6次産業化等大きく変貌される。市の農業ビジョンについて伺う。

○道立林業大学校は、七地域から手を挙げ予算を許さない。市の利点と校舎候補地、今後の進め方等を伺う。

みずほ議員会

谷村 知重 議員



問 高齢者福祉について

答 市内老人クラブの組織数は大きな変化はないが、会員数は徐々に減少している。市では若年層の会員獲得のため、各クラブの活動を紹介するホームページの作成を進め支援していき、30人未満のクラブへの支援についても実施する方向で検討する。

問 地域での見守り活動は

答 民生児童委員によって安否確認等の見守り活動が実施されており、一部の町内会や老人クラブも民生児童委員と連携しているほか、社会

市議会だより

福祉協議会の配食サービスは高齢者の見守りも兼ねている。

今年からは生活支援体制整備事業として2つの町内会に先駆的に関わりを持ちながら事業を進めている。地域では老人クラブや町内会役員、民生児童委員他多くの方に参加いただき、地域での見守りや助け合いを進めていただいております、今後は地域を広げ事業を展開していきたい。

問 今後の消防団体制は

答 消防団再編後10年間のデータから、将来を見据えて人口・世帯の動向や、地域の特性・実情、常備消防署と近隣消防団との距離、詰所、車輛、装備等の状況等幅広い観点に立って総合的に組織を見直し、機動的な組織として強化していくことが必要であると考えます。美唄市消防団が将来において十分に、地域の安心・安全の中核となる組織体制に努める。

《その他の質問事項》

○パイオニールロードレースについて

○陸上競技場の整備について

公正クラブ

川上 美樹 議員



問 市職員の評価制度があるが真に頑張る職員、有望な職員の評価を時には年齢に関係なく、給与、昇格等につなげ、やる気を引き出し元気で活気ある市役所にしていくべきと思うがどう考えるか。

答 人事評価制度を導入して1年8ヶ月経つ。職員のやる気を引き出し職場環境を良い形にしていくように今後も充実を図る。

問 全国でいじめの件数が32万件、昨年は22万件と増大。

学校が楽しくないのは苦痛だ。いい思い出もできない。本市

での未然防止対策をしっかりとやるべきと思うがどうか。

答 いじめは決して許されない。アンケートをとったら本市も増えている。カウンセラー、学校、保護者と情報共有を密にし未然防止、早期発見、早期解決を図る。

問 教師の多忙化の中、中学生の部活動は休養日を作ったり外部講師委託をしては。

答 スポーツ庁においても指摘されている所である。学校関係機関と協議する。

問 学力の底上げの為、岩見沢市等、民間学習塾講師の補充学習が増えている。本市もやるべきでは。また習熟度別にしっかり指導すべきでは。

答 長期休みなど補充学習は行っている。習熟度別は教科によって行っているものがあるが今後学力テストの結果も全道全国平均を上回るよう、他市町村の例を下に充実していく。

日本共産党議員団

吉岡 文子 議員



問 最近、性的少数者にたいして、同性パートナーシップ等配慮をする自治体が増えている。本市での認識と今後について市長、教育長に質問。

答 市長は性的少数者に対する偏見や差別を多種多様な人権問題の一つと捉え、偏見や差別を根絶することにより、多様性を認め合う地域社会を実現することが重要であると考えている。今後は国や道、他市の取り組み等情報収集に努め適切に対応する。教育長は今年4月文部科学省は「性同一性障害に係る児童生徒に

対するきめ細かな対応の実現等について」を通知。学校現場での支援について示す。本市では支援を必要としている児童生徒はいないが、申し出ができなく一人で抱え込んでいることがないかどうか様子を注意深く見守っていく。今後実施される研修会等においてテーマとして取り上げ、教職員が共通認識のもと、適切な対応をしていく。

問 選挙時の投票所入場券について1人1枚とできないか。

ハガキに5人まで印字するということが、非常に文字が小さく、ハサミで切り取るなど不便。他市においては1人1枚となっている例もある。

答 現在のシステムの改修の必要があることや、ハガキの枚数も増え、経費も増える。財政措置が見込める国政選挙や道選挙のみ1人1枚とすることはさらに選挙後とのシステム改修となるため難しいものと考えます。

《その他の質問事項》

○市内の中学校の制服について

無党派

丸山 文靖 議員



市議会だより

(5)

問 生活保障の新しいかたち「共生保障」の市の考え方と今後の取り組みについて

答 国においては、制度・分野の区分けや「支えて」「受け手」の関係を超えて、地域住民をはじめ、地域の多様な主体が、「我が事」として参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えて「丸ごと」つながること、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をとともに創る「地域共生社会」の実現を目指している

本市においては、複合化した事例の場合は、これまでも

関係の分野と随時それぞれの情報を持ち寄り支援にあたっているが、地域をはじめ分野を問わず、より円滑な支援体制づくりを進め、地域共生社会の実現に努めていきます。

今後の取り組みについては、従来からの福祉サービスでは、制度の狭間に陥る方がおられることから、支援を要する方には、必要な支援が確実に届くようにすることが必要であります。そのために、社会福祉協議会や保健所、医療機関、民生委員、町内会、民間アパートの所有者、地域ボランティアなど多様な分野と連携して、その方の視点に立つて、支援（サービス）を受けられる体制を構築していくことが必要と考えております。

《その他の質問事項》

○市職員の資格の活用について

○小中学校におけるICT活用について

公正クラブ

山崎 一広 議員



問 公共施設等管理計画について

①今後の再配置の考え方について

②庁内連携と財源確保について

答 ①市立病院や保健福祉総合施設、庁舎や市営住宅、図書館、市民会館、公民館等、公共の街中への集約や複合化を図り、施設規模の適正化に取り組んで行く事が重要。

②構想を実効性の高いものにするため、都市再構築戦略事業の実施に関し更に検討していきたい。

財源確保は、国の有利な交付金の活用に向け、情報収集を行い、検討を深めたいと考えている。

いずれにしても、健全な財政基盤の構築に取り組んで行く。

問 都市整備事業について

①道道美唄富良野線の現況と開通時期は何年なのか

②旭通りの拡幅工事についてその距離と何年完成なのか

答 ①当初32年が2年延び34年開通予定と伺っている。

②東3条通から菜の花通まで880メートルで、31年度完成予定と伺っている。

問 ゴミの処理について

①不法投棄の現状について

②産業廃棄物の現状についてまた、不法処理の話も何うが対策は。

答 ①看板の設置や3R推進員啓発会議や、広報で周知、悪質なもの警察等と連携

②道が所管し、市では巡回等で確認しているが、今後、不法投棄の実態に、情報提供出来るよう働きかけて行きたい。

委員会の報告

常任委員会と特別委員会等での質疑応答と論議の内容

《総務・文教委員会》

51号 美唄市立学校設置条例の一部改正の件及び

陳情第1号 美唄市立栄幼稚園の存続を求める陳情

（この2件は関連があるため、一括して審査を行い、継続審査となつていたものです。）

問 ピパの子保育園は、玄関に監視カメラを設置するなど、防犯対策をしているが、栄幼稚園は、アルテピアッツァ美唄とトイレを共用している部分もあり、建物を改修するとなれば相当な費用がかかる。このことについて、どのように考え、どのような要望をもっているのか。

答 アルテピアッツァ美唄を訪れる方は、皆さんが不審者ではなく、一般の方で、その中に不審者がいるかもしれないということ。ただ、アルテピアッツァ美唄に来ている方という、どれだけ不審者がいるかではないかと見ている。

また、防犯や安全面では、万全を期すために、防犯カメラやスプリンクラーなどを設置する必要がある。また、耐震面で不安要素はあるが、すぐに逃げられる場所があるので喫緊の問題ではない。また、いくらカメラがあっても、人がその場にいないければ、子どもを助けられないので、地域住民やボランティアの手を借りて、手助けができるのではないかと考えており、それは行政が前向きな活動をするることによって、十分サポートできると考えている。



栄幼稚園

問 教育委員会は、栄幼稚園閉園後の園児の受け皿として、認定こども園ひまわりの短時

間保育の部分で幼児教育を担うということだが、認定こども園ひまわりは、認定こども園の中でも保育園型であつて、幼児教育を担うものではないので、今まで栄幼稚園で行われていた幼稚園教育のような基準を求めている市民にとっては、認定こども園ひまわりの短時間保育は選択肢に入りにくいのではないかと思つた、そのことについては、どのように考えているか。

答 栄幼稚園に歩いて通える距離に住んでいる方から、「認定こども園ひまわりへ見学に行ったが、非常に忙しそうで大変さが伝わってきた。そこからまた子どもが増えるとなると不安が強かった」という感想を聞いた。認定こども園ひまわりに受け皿を設けると行政は言われているが、単にその箱として考えるには無理があるのではないかと思つている。

その後、所管の教育委員会に対して質疑を行いました。委員からは、熊の対策については、栄幼稚園だけではなく、アルテピアッツァ美唄や地域

住民にも関係する問題であり、人命にもかかわることから、教育委員会だけで解決できるのか。総合的な立場の中で考えていくべきである。

また、栄幼稚園を存続することになれば、存続に向けた財政的な措置が必要となり、閉園する場合でも、不用品を教育委員会でも有効に使用することができるとは、財政課が深くかかわっている。

また、栄幼稚園を存続するしないにかかわらず、アルテピアッツァ美唄周辺の地域を生かしたまちづくりをどう進めていくのかについても議論しなければならぬ。

このようなことから、審査にあたっては、財政課や総合戦略室などの市長部局を加えた質疑の場を設けるべきである。との意見があり、議案第51号及び陳情第1号について、引き続き継続審査とすることに決定しました。

問 閉園は苦渋の選択ということだが、ふるさと財団の外部専門家派遣事業で、アルテピアッツァ美唄並びに栄幼稚園に対してのコメントについ

て、教育委員会はどのように受け止めたのか。

答 ふるさと財団の専門家からは、この素晴らしい環境を維持するためには、今後も相当な費用をかけ続けていかなければならないが、それは可能なのか。市民は納得しているのか。市、アルテ、市民が1つのテーブルについて議論をし、長期ビジョンをつくることで、目標像の共通認識を持てるようにするべきだ等の提言をいただいている。また、新聞に出ていた、ふるさと財団の専門家の方のコメントについては、報告書の中に「世界に誇れる幼稚園をなくしたら恥ずかしい」という文言はなく、専門家の方が思いを言葉として出されたものを、報道が記事にしたのではないかと59号 指定管理者の指定の件（安田侃彫刻美術館アルテピアッツァ美唄）

問 安田侃彫刻美術館アルテピアッツァ美唄は、敷地が広く、来場者数のカウントは難しいと思うが、入場料は取るべきではないか。また、美術館としての催しの開催状況に

ついて。



アルテピアッツァ

答 現在、入場料は無料となっているが、施設が広く、どこからでも入ってこられるため、入場料の徴収については課題があることから、今後、指定管理者と協議していきたいと考えている。また、美術館として、いろいろな催し等を行っているが、広く周知の上、いろいろな方を利用していただけるような方法をとっていきたいと考えている。

61号 指定管理者の指定の件（美唄市立図書館）
問 図書館の現在の人員は、正職員4名、嘱託職員2名、臨時職員2名となっているが、指定管理により雇用は継続さ

市 議 会 だ よ り

れるのか。また、給与等はどうになるのか。



市立図書館

答 現在、勤務している嘱託職員、臨時職員については、

今後、本人たちの意向を確認し、希望があれば、図書館での継続雇用となるが、図書館での雇用を希望しない場合は、市のほかの部署へ配置替えとなるものと考えている。また、引き続き図書館での勤務を継続した場合の給与については、指定管理者に対し、現状の給与水準を下回らない内容での継続を求めている。

60・93・94号 質疑なし

51号 起立採決、原案可決

陳情第1号 起立採決、不採決

59・61・93・94号 原案可決

《産業・厚生委員会》

62号 指定管理者の指定の件

問 南美唄地区共同浴場の過去3年間の利用者数の推移と運営状況について。また、利用者数が減少する中で3年間という指定管理期間は、リスクが大きいと思うが、その点についてどのように考えているのか。

答 利用者数は、平成26年度が6845人、平成27年度が6077人、平成28年度が5333人となっており、運営状況については、年々、収支の均衡が図れなくなってきた



共同浴場

いることから、平成24年度は12万1423円、平成25年度は47万4729円、平成26年度は35万円、平成27年度は30万円、平成28年度は40万円の支援を市で行っている。

なお、南美唄地区共同浴場は、市営住宅の南美唄団地に付随した施設であると考えており、平成28年3月に策定した公営住宅等長寿化計画の中では、平成33年度に用途廃止される計画になっているため、その期間までは継続して続けていきたいと考えている。

64・77号 地域福祉会館の指定管理者の指定の件

問 各地域から、福祉会館の運営が厳しいという声が聞かえてくるが、その点をどのようにとらえ、何か対策を考えているのか。また、3年間という指定管理期間は妥当なのか。

答 人口減少に伴い、福祉活動や町内活動、葬儀等が著しく減少しており、大変厳しい運営状況だが、利用収入増に向け、各種イベントや催しを開催したり、経費の節減、節電に取り組むなどして、各地

域の運営委員会が創意工夫のもと努力している。また、今後の運営については、各運営委員会や地域の方々と十分協議を重ね、方向性を見出していきたい。なお、運営状況は厳しいものの、3年という指定管理の期間は妥当であると考えている。



北福祉会館

79・81号 へき地保育所の指定管理者の指定の件

問 へき地保育所の在り方について、地域の方や保護者との意見交換などはしているのか。

答 各へき地保育所の運営委員長で構成している特別保育事業協議会の中で、へき地保育所の現状や今後の方向性に

ついて協議を重ねているところである。

85号 指定管理者の指定の件

問 ピパの湯ゆくりん館の新しい宿泊棟の工事の進捗状況と、支配人がかわったと聞いたが、その状況について。

答 現在、型枠工事が終了し、今後、建具工事、内装工事、電気工事を行う予定となっている。また、支配人については、12月11日付で新任の方が着任したと聞いている。

86号 指定管理者の指定の件

(米穀乾燥調製処理施設) 及び 87号 指定管理者の指定の件

(小麦集出荷調製施設)



米穀乾燥調製処理施設らいす工房美唄



交通公園

問 耐用年数を鑑みると、更新時期にきていると思うが、今後の在り方については、それぞれ美唄市農業協同組合及び峰延農業協同組合に一任するののか。

答 両施設とも、利用収入等で運営経費が賄われており、修繕や設備の計画的な更新は、指定管理費で行われていることから、現状は、このまま継続して使用していきたいと考えているが、将来的には大規模改修なども考えられるため、施設の在り方については、各農協と協議していきたい。

88号 指定管理者の指定の件 (和田公園)

問 公園の西側に自転車乗り方の研修を行う施設があるが、この施設も和田公園の施設なのか。

答 交通公園も和田公園内の施設である。

63・78・82・84号 質疑なし
62・88号 原案可決

《予算審査特別委員会》
89号 平成29年度美唄市一般会計補正予算(第5号)

問 「行政情報化運用事業」について、市全体のマイナンバーカードの交付枚数と交付率は、どのようになっているのか。

答 平成29年10月末現在で、交付枚数は1994枚、交付率は8・95%となっている。

問 「障がい児居宅生活支援費給付事業」について、国では、施設職員による支援内容が不適切なものとならないよう、資格要件の厳格化を示しているが、市では、市内施設職員の資格の状況をどのように把握しているのか。また、施設の利用者負担について、どのように考えているのか。



共練団地

答 市内にある民間の3事業所に確認したところ、いずれの事業所でも、利用定員に応じた2分の1以上が有資格者であり、国の基準を満たしていることを確認している。利用者負担については、負担金を徴収することで、保護者が利用をためらい、子どもの育ちを伸ばすという本来の目的に支障を来すと考えることから、助成を継続していきたい。

問 「公営住宅改善事業」について、今回の改修工事を行うことによって、共練団地全体の何パーセントが工事完了となるのか。また、未改修分の工事はいつまでに行われる予定なのか。

答 今回、改修工事を行うことにより、全8棟あるうちの4棟が完了することとなる。なお、残りの4棟については、平成30年度以降、順次、改修工事を進めて行く。

問 「私立幼稚園施設型給付費負担金給付事業」について、めぐみ幼稚園、アカシヤ幼稚園の処遇改善加算について、加算の対象となる職員数は把握しているのか。

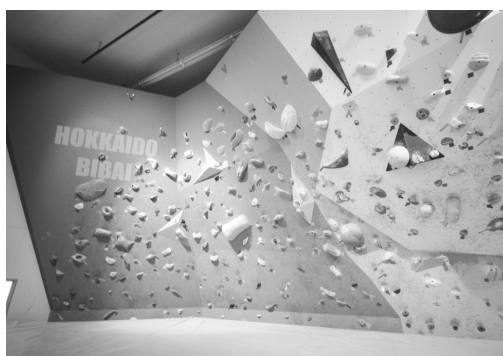
答 処遇改善の対象となる職員について、めぐみ幼稚園は3名が対象となり、1名は特別支援リーダーとして月額4万円、もう1名は食育リーダーとして月額3万5000円、残りの1名は栽培リーダーとして、月額50000円の処遇改善が行われることになっている。また、アカシヤ幼稚園は4名が対象となり、専門リーダーの事務職員の方が月額4万円、副園長が月額3万円、専門リーダーの方が月額1万円、若手リーダーの方が月額50000円の処遇改善となる。

問 「体育センター整備事業」について、体育センターを北海道から3100万円で購入

するということだが、金額は妥当なのか。また、周辺自治体で、北海道から同規模の建物などを購入した例はあるのか。

答 北海道が9月に不動産鑑定評価を行い3100万円という評価額となった。また、近隣で規模の同じような自治体の例については調査をしていない。

89号 原案可決



体育センター ボルダリングウォール

表 1 補正予算

(千円)

89号 平成29年度美唄市一般会計補正予算(第5号)

補正総額 1 2 1, 2 2 2(千円)

歳入	国庫支出金		26,784
	道支出金		6,690
	繰越金		43,748
	市債		44,000
歳出	総務費	行政情報化運用事業	4,355
	民生費	障がい者福祉一般管理事務	1,000
		障がい児居宅生活支援費給付事業	11,922
		生活保護扶助事業	36,596
	土木費	公営住宅改善事業	25,035
	教育費	私立幼稚園施設型給付費負担金給付事業	11,314
		体育センター整備事業	31,000

【繰越明許費】

公営住宅改善事業	25,035
----------	--------

【債務負担行為補正】

追加	安田侃彫刻美術館アルテピアッツァ美唄指定管理業務	年度ごとの協定で定める額
	温水プール指定管理業務	年度ごとの協定で定める額
	図書館指定管理業務	年度ごとの協定で定める額
	南美唄地区共同浴場指定管理業務	年度ごとの協定で定める額
	火葬場指定管理業務	年度ごとの協定で定める額
	峰延福祉会館指定管理業務	年度ごとの協定で定める額
	茶志内福祉会館指定管理業務	年度ごとの協定で定める額
	光珠内福祉会館指定管理業務	年度ごとの協定で定める額
	東福祉会館指定管理業務	年度ごとの協定で定める額
	南福祉会館指定管理業務	年度ごとの協定で定める額
	日東福祉会館指定管理業務	年度ごとの協定で定める額
	西美唄福祉会館指定管理業務	年度ごとの協定で定める額
	中村福祉会館指定管理業務	年度ごとの協定で定める額
	茶志内中央福祉会館指定管理業務	年度ごとの協定で定める額
	東明西福祉会館指定管理業務	年度ごとの協定で定める額
	東4条福祉会館指定管理業務	年度ごとの協定で定める額
	北福祉会館指定管理業務	年度ごとの協定で定める額
	開発福祉会館指定管理業務	年度ごとの協定で定める額
	癸巳福祉会館指定管理業務	年度ごとの協定で定める額
	総合福祉センター指定管理業務	年度ごとの協定で定める額
	茶志内双葉保育園指定管理業務	年度ごとの協定で定める額
	峰延保育所指定管理業務	年度ごとの協定で定める額
	進徳保育園指定管理業務	年度ごとの協定で定める額
	ピパオイの里プラザ指定管理業務	年度ごとの協定で定める額
	まちなか交流広場指定管理業務	年度ごとの協定で定める額
	和田公園指定管理業務	年度ごとの協定で定める額

【地方債補正】

	補正前	補正後
変更 市営住宅整備債	16,000	29,000
体育施設整備債	37,300	68,300

第4回定例会での審査議案
(簡単な内容説明です。委員会報告にある件は、委員会名を記載してあります。)
報告第22号 例月出納検査結果報告

表 2 補正予算		(千円)
承認 8号 平成29年度美唄市一般会計補正予算(第4号)		
補正総額 19,955 (千円)		
歳入	国庫支出金	19,555
歳出	総務費 衆議院議員選挙及び最高裁判所裁判官国民審査事務	19,555

報告第26号 美唄市教育委員会の活動状況に関する点検・評価報告
承認第8号 専決処分の承認を求める件(平成29年度美唄市一般会計補正予算(第4号)(表2))
第51号・59号・61号・陳情第1号 総務・文教委員会
第60号 指定管理者の指定の件(美唄市営温水プール)
第93号 美唄市給与条例の一部改正の件
第94号 美唄市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例並びに美唄市特別職の職員の給与に関する条例の一部改正の件
第62号・64号・77号・79号・81号・85号 産業・厚生委員会
第63号 指定管理者の指定の件(美唄斎苑)
第78号 指定管理者の指定の件(美唄市総合福祉センター)
第82号 指定管理者の指定の件(美唄市東地区生活支援センター)
第83号 指定管理者の指定の件(パイオンの里ブラザ)
第84号 指定管理者の指定の件

お知らせ
本会議、委員会は、どなたでも傍聴できます。平成30年第1回定例会は、3月上旬の予定です。日程など詳しくは議会事務局(電話63-0141)にお問い合わせ下さい。

件(美唄市まちなか交流広場)
第89号 平成29年度美唄市一般会計補正予算(第5号)(表1)
第90号 美唄市教育委員会委員任命の件
第91号 美唄市固定資産評価審査委員会委員選任の件
第92号 美唄市議会委員会条例の一部改正の件
意見書第5号 北海道における「鉄道網」の存続を求める意見書
意見書第6号 学校給食の無償化を求める意見書
意見書第7号 受動喫煙防止対策の推進を求める意見書
意見書第8号 核兵器禁止条約への調印・批准を強く求める意見書
意見書第9号 適正な地方財政計画の策定を求める意見書

市議会の動き	
10月	23～25日 議会報告会
11月	14日 総務・文教委員会
12月	1日 議会運営委員会 5日 第4回定例会開会 8日 一般質問 11日 一般質問 12日 常任委員会 13日 予算審査特別委員会 14日 地域医療体制等調査特別委員会 15日 第4回定例会閉会 15日 議会運営委員会 19日 議員協議会 28日 広報委員会
1月	11日 広報委員会 15日 広報委員会

編集後記
初冬からの集中的な大雪は平成23年度の記録的な積雪を彷彿とさせ、今後の経過を心配しつつも北国の除排雪の重要性を再認識しました。
本市は人口減少と厳しい財政状況下にあります。持続可能な「まち」を目指し、短・中長期的な政策構築と実行のため、選択と集中をもって「地方創生」の名のもとに効果を求め進んでいます。
地域経済においては、人口減・高齢化に対する考え方の改革が急務であり、人づくりや新しい発想とチャレンジ精神、そして、技術の効率化やAI(人工知能)など新技術の活用によって人材不足に対応すべく未来を見据えた行動が今必要なのではないでしょうか。
ここに議会だよりをお届けします。皆様のご意見などありましたら議会へお届け下さい。(教)
広報委員会
委員長 谷村知重
副委員長 松山教宗
委員 楠 徹也
委員 吉岡 建二郎